

# Q1

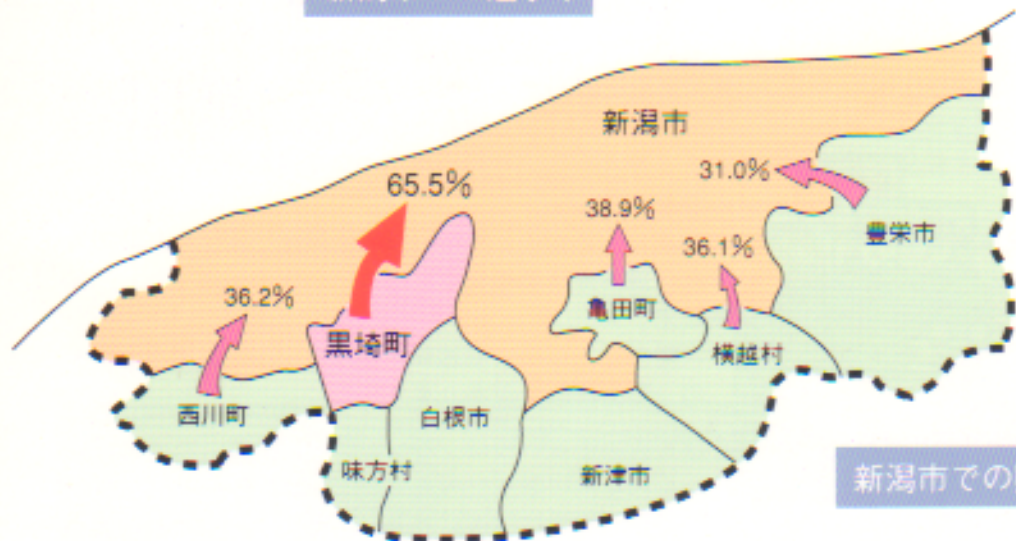
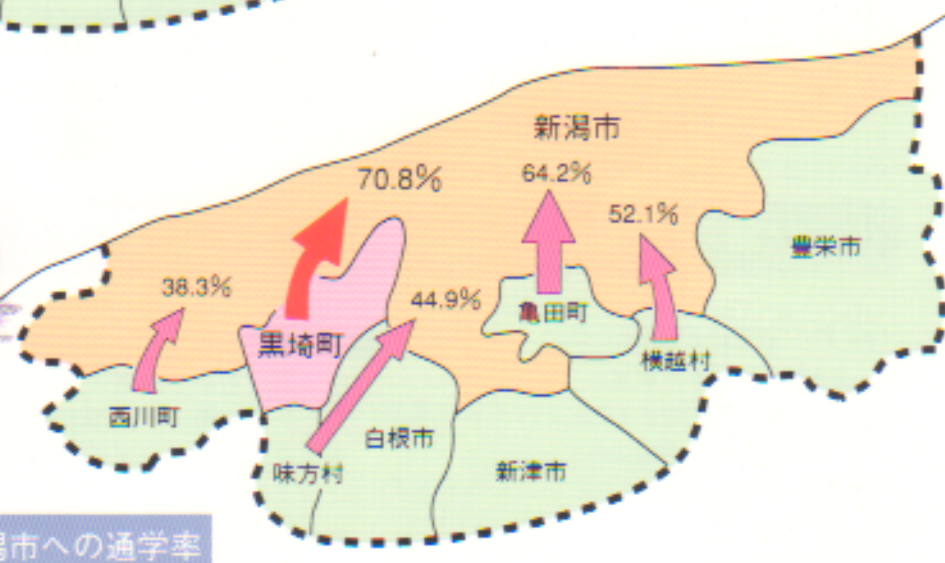
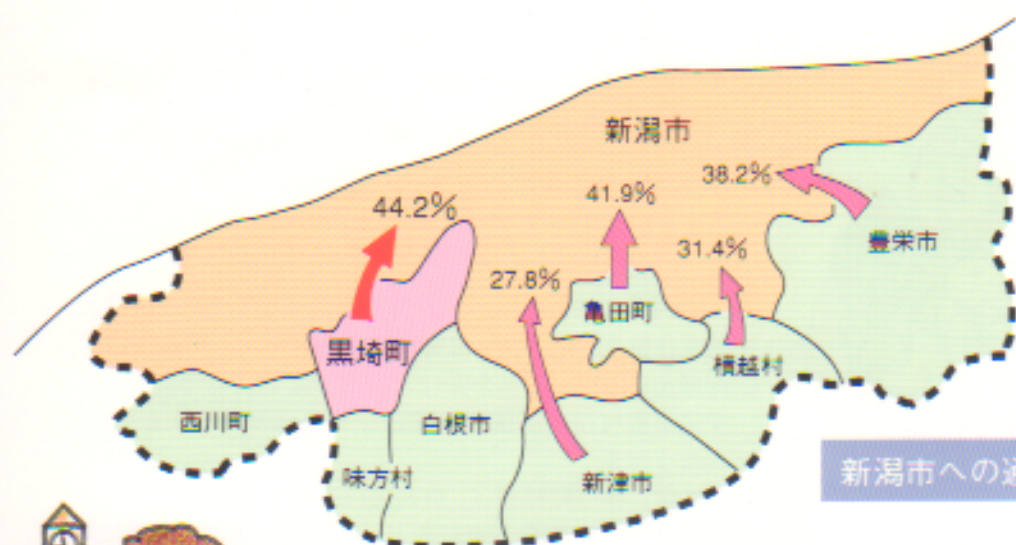
なぜ黒埼町との合併の検討を進める必要があるのでしょうか。

## (1) 生活圏の広域化・一体化が進んでいます。

- 近年、周辺市町村から新潟市へ通勤、通学、買い物をする人の数は、増加の傾向にあり、住民は、市町村の垣根を越えて様々な活動を行い、生活圏の広域化が進んでいます。特に新潟市と黒埼町の結びつきは、強いものがあります。〈次頁〉
- さらに、新潟市と黒埼町の住民の移動状況を見ると、昭和51年から平成4年までの過去17年間で、新潟市から黒埼町へ転出した人の数は、7,976人です。  
この数は、黒埼町の人口の約3分の1にあたります。
- この背景には、新潟市における土地の高騰などの影響があり、核家族化の進展と一戸建住宅への指向から、今後もこの傾向は進み、より一層生活圏の一体化が進むものと考えられます。



# 周辺市町村から新潟市への 通勤・通学・買い物の状況



〈注〉新潟市への通勤率・通学率：平成2年国勢調査 他の市町村の15歳以上の就業者及び通学者が、新潟市へ通勤、通学する割合  
 新潟市での購買率：新潟県「新潟県広域商圏動向調査報告書」平成5年3月 他の市町村の消費者が、新潟市で買い物（全品目）をする割合  
 上位の5市町村を記載

## (2) 行政ニーズが広域化、高度化しています。



- 住民の日常生活圏の広域化・一体化にともない、次のような新しい行政ニーズが生じてきています。
  - 他の市町村に勤務している場合、勤務地に近い保育園等の施設を利用したい。
  - 勤務地で住民票交付等の行政サービスを受けたい。
- 一方、生活が豊かになり、価値観が多様化する中で、次のようなより高度な行政ニーズも生じてきています。
  - 生涯を通して学習をしてゆきたい。
  - 機能が充実した文化施設やスポーツ施設を利用したい。
- これらのニーズは、今後、さらに高まるものと考えられ、同じ生活圏の住民が、市町村の行政区域にかかわらず、同様な行政サービスを受けたいと望んでいるところから、関係市町村は、連携を一層強化する必要があります。
- また、各市町村では、住民に一番身近な自治体として、多様化し、高度化した住民ニーズに応じてゆく必要がありますが、そのためには、行財政の基盤を強化して、今まで以上に自主的、主体的に行政を運営できるようにすることが大切です。

## (3) 広域行政を推進する必要があります。

〈注〉 一部事務組合

- 各市町村などが、事務の一部を共同して処理するために設ける地方公共団体の組合



- 広域化、高度化する行政ニーズに対し、各市町村は、効率的に行政を運営することはもとより、事務を委託したり、協議会・一部事務組合を設立し、共同、協力して事業を実施しています。<sup>(注)</sup>

〈例〉

- 新潟市は、黒埼町民の火葬を受託しています。
  - 市民病院は、伝染病が発生した場合、28市町村の患者の入院・治療を引き受けています。
  - さらに、新潟市と黒埼町を含む18市町村は、新潟地域広域市町村圏協議会を設置し、総合的な計画を策定するとともに、その実施について連絡調整を図っています。
  - また、新潟市と黒埼町ほか2町村で設置した新潟地区広域清掃事務組合は、ごみ・し尿の処理を行っています。
  - その他、新潟東港地域水道用水供給企業団など多くの一部事務組合があります。
- これらの広域行政は、構成市町村と共同しながら、今後とも積極的に推進していくことが重要ですが、広域化、高度化する住民ニーズに対し、より効率的な行政運営を考えると、生活圏の一体化が進んでいる新潟市と黒埼町は、広域行政をさらに進めた合併についても検討する必要があります。

(4) 新潟市と黒埼町とは、バランスのとれた魅力あるまちとして、互いに発展するため、合併の検討を進める必要があります。

新潟市と黒埼町の現状及び課題は以下のとおりです。

## 新潟市

### 現況

- 地価は、周辺市町村に比べ、やや高い水準にあります。
- 交通体系の整備、進展にともない、周辺市町村との利便性の差が少なくなってきています。
- そのため、事業所の流出や住民の転出などの状況がみられます。

### 課題

- 環日本海圏の拠点都市として発展するためには、事業所の流出を抑制するとともに、人口の増加を図ることが望まれます。  
そのためには、
  - 産業を育成し、高等教育機関の拡充やコンベンション施設の立地を図り、また、充実した文化施設やスポーツ施設を設置するなど、都市としての魅力を高めていくことが必要です。
  - 優良な住宅地を創出することが必要です。
  - 教育・福祉施策などを一層充実し、市民生活の質的向上をさらに図ることが必要です。

## 黒埼町

### 現況

- 新潟市と比べ、相対的に低廉な住宅地が供給されています。
- 交通体系の整備、進展にともない利便性が向上してきています。
- そのため、事業所の進出や住民の転入などの状況がみられます。

### 課題

- 宅地開発による人口増加や事業所の進出に対し、生活関連施策などを実施することにより、人と産業が調和し、均衡のとれたまちとして発展することが望まれます。  
そのためには、
  - 高齢化時代にむけた福祉施策等を充実させるとともに、良好な住環境の整備を推進することが必要です。
  - 広域的な幹線道路の整備を進め、総合的な土地利用を図ることが必要です。

## 相互発展の 方向

新潟市と黒埼町の行政課題は、相互に関連しており、これらの課題に対しては、両市町が機能を分担し、互いに補いあうことで、バランスのとれた魅力あるまちづくりが可能となり、さらに発展できるものと期待されます。

このようなことから、両市町の合併を考える必要があります。